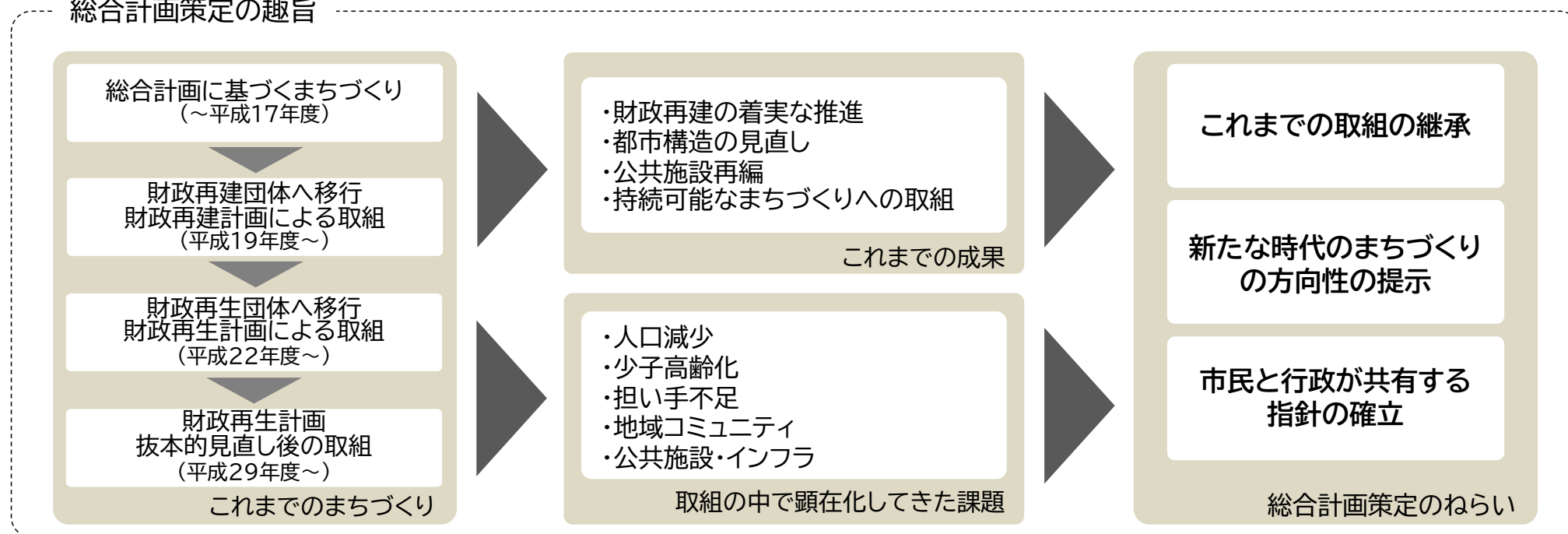


夕張市総合計画等策定委員会 説明資料

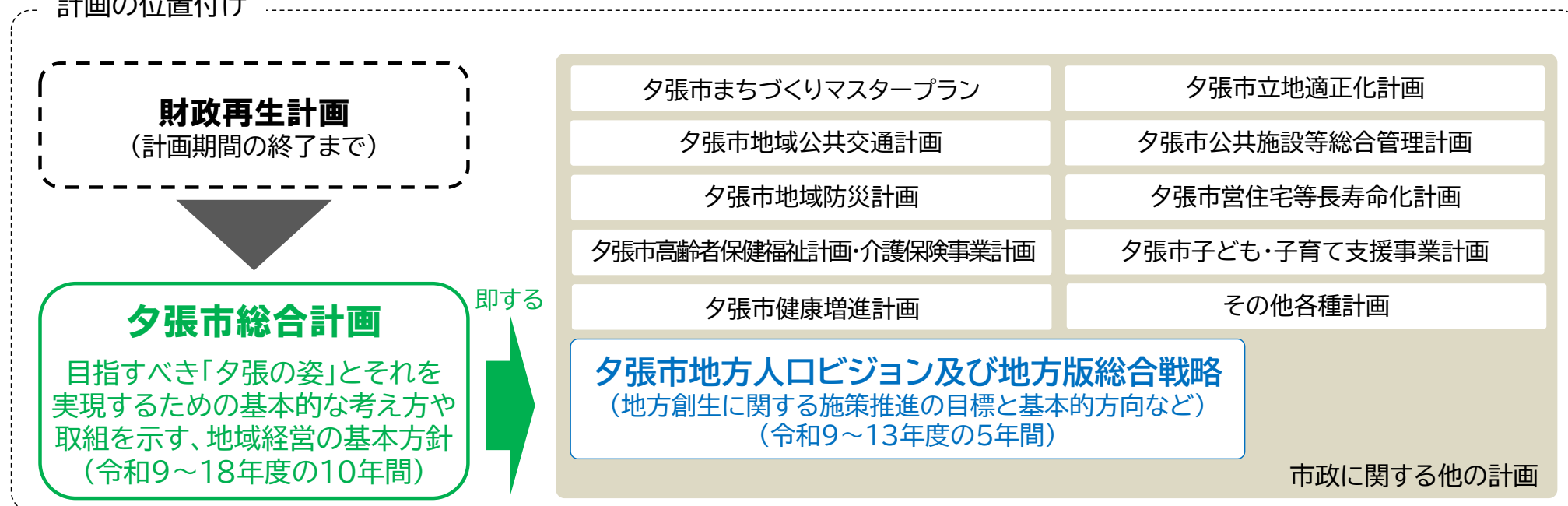
**令和8年7月6日
夕張市**

総合計画策定の趣旨／計画の位置付け

総合計画策定の趣旨



計画の位置付け



夕張市の概要・現状分析

夕張市の概要・現状分析

人口

昭和35年の107,972人をピークとして減少を続け、令和2年には7,334人と**急激な人口減少が進行**
社人研推計によると、今後も人口は減少を続け、令和32年には2,154人となると予測

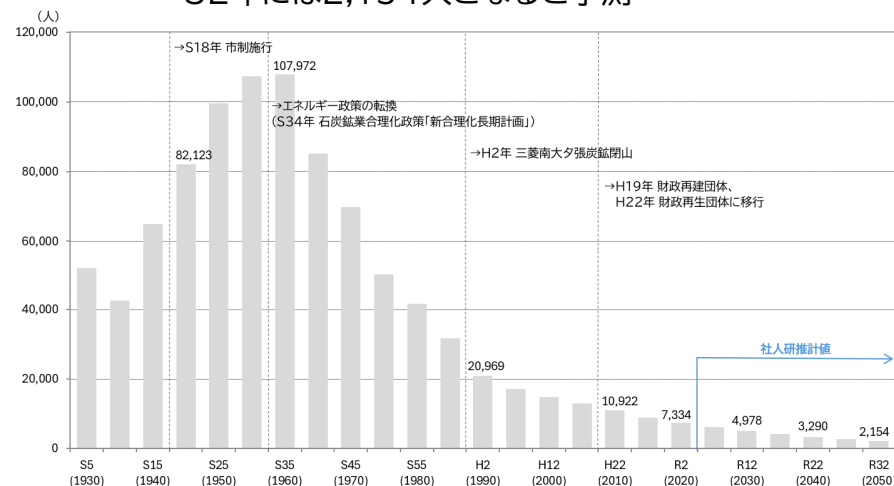


図 総人口の推移

産業・雇用

現在の産業構造は**第三次産業を中心とした構成**

就業者数の構成比は第三次産業が大半を占める一方、北海道全体の産業構造と比較して、第一次産業の割合が高い

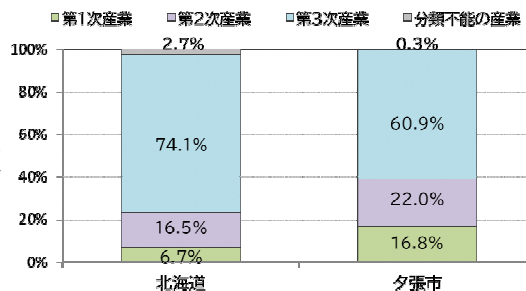


図 産業別就業者数の構成比 北海道との比較

地域コミュニティ

人口減少や少子高齢化の進行等により、**地域コミュニティ活動の参加者は減少傾向**にあるとともに、施設運営者の高齢化が進行

生活サービス

交通:平成31年にJR石勝線夕張支線が廃止、路線バスも減便傾向
買物:日用品以外の耐久消費財などは市外で購入されることが多く、市内の商業機能は減少傾向
医療:新たな市立診療所が令和5年9月から共用を開始
教育:令和6年度より小中一貫教育を本格的に導入

土地利用・都市構造

土地利用状況:保安林を含む「その他」が最も多くの面積を占有
都市構造:**南北に長く市街地が分散**

表 夕張市の土地利用

	田	畑	宅地	池沼	山林	牧場	原野	雑種地	その他	総面積
面積 (ha)	83	968	511	140	4,855	0	659	911	68,179	76,307
	0.11%	1.27%	0.67%	0.18%	6.36%	0.00%	0.86%	1.19%	89.35%	100.00%

公共施設インフラ

市内に点在する公共施設や道路・橋梁・上下水道といった**インフラの老朽化が進行**
土木や上下水道等の技術者が不足

行財政運営

歳入総額は約110～135億円、歳出総額は約107～132億円の間に推移

財政力指数は**0.18～0.21**の間に推移しており、全国の市町村および北海道の市町村平均に比べて低い

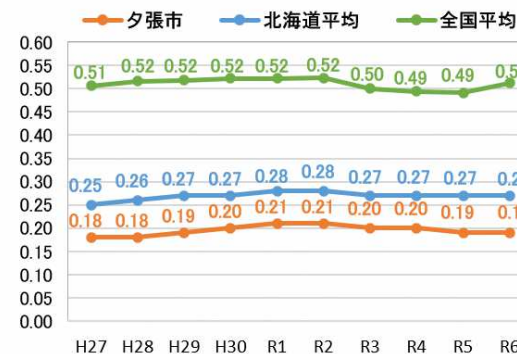


図 財政力指数の推移

総合計画等に関する市民アンケート調査結果

対 象：無作為抽出した約1,000人の18歳以上の夕張市民。
回答数：261票（回収率25%）
設 問：暮らしの満足度、市の取り組み、今後の居住意向など
時 期：令和7年8月。
備 考：中学生・高校生へは暮らしの満足度や進学意向などを別途調査。

集計結果（一部）

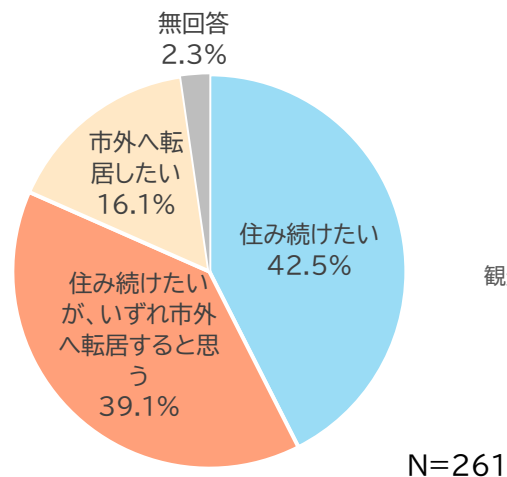
評価が高い項目（＝そう思う）

- ① 空気や水が澄んできれい
- ② 身近に自然を感じる
- ③ 自宅近辺が閑静（騒音に悩まされない）
- ④ 自宅に心地いい場所がある
- ⑤ 自慢できる自然景観がある

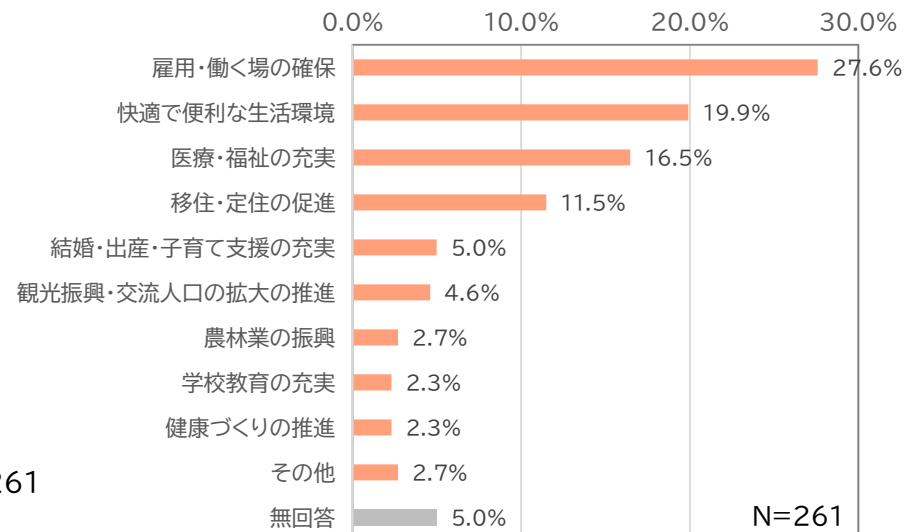
評価が低い項目（＝そう思わない）

- ① 楽しく過ごせる娯楽施設がある
- ② 飲食を楽しめる場所が充実している
- ③ 公共交通が便利である
- ④ 日常の買い物にまったく不便がない
- ⑤ 医療機関が充実している

「生活環境の評価」



「今後とも夕張市に住み続けたいか」



「優先すべき政策分野」（複数選択可）

クロス集計分析※の結果（一部）

※設問の関係性を分析したもの。単純な傾向比較から多変量解析まで含む。

夕張市に住み続けたい人が抱えている不満

- 【生活環境】学校への通学が不便
- 【行政運営】行政サービスのデジタル化が進んでいない
- 【協働】自分のことを好ましく感じない
- 【雇用】適切な収入を得るための機会がない

市民の幸福度（Well-being）に寄与するまちのあり方

- 【子育て】市内に住む子どもたちがいきいきと暮らせるまち
- 【行政運営】市役所が地域のことを真剣に考えているまち
- 【まちづくり】地域の雰囲気が心地よいまち
- 【インフラ】他に自慢できる都市景観があるまち
- 【協働】地域の人たちをお互いに信頼しているまち

課題と方向性

課題と方向性

夕張市の現状分析結果

人口

産業・雇用

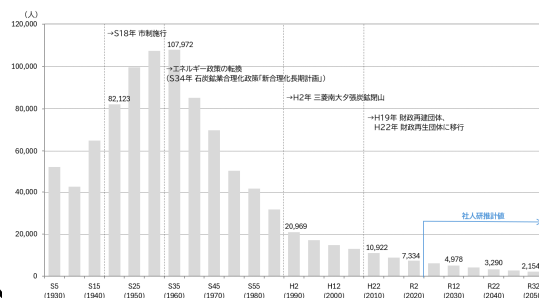
地域コミュニティ

生活サービス

土地利用・都市構造

公共施設・インフラ

行財政運営



人口減少・少子高齢化
各機能の低下
施設等の老朽化

市民アンケート調査結果

生活環境の評価

<評価が低い項目>

→公共交通の利便性、医療機関の充実など

今後の居留意向

住み続けたい:42.5% いずれ転居:39.1%
転居したい:16.1%

優先すべき政策分野

1位:雇用・働く場の確保
2位:快適で便利な生活環境 ...

夕張市に住み続けたい人が抱えている不満

【生活環境】【行政運営】【協働】【雇用】

市民の幸福度（Well-being）に寄与するまちのあり方

【子育て】【行政運営】【まちづくり】【インフラ】【協働】

人口構造の変化への対応

暮らしを支える生活サービス
機能の維持・向上

地域を支える主体の
維持・確保

持続可能な地域経営の
実現

現状分析と市民ニーズから見える課題

コンパクトシティの推進

地域資源を活かした地域活性化

持続可能な地域経営

今後のまちづくりの方向性

夕張市総合計画の基本構想（案）

理念

「夕張らしさ」＝自然歴史文化の継承

貴重で豊かな自然環境や、夕張の発展を支えた産業遺産及び各地域の強いコミュニティ・きずなといった歴史文化などを踏まえた、市民1人1人が想う「夕張らしさ」を大切に考え、その想いを次世代へ受け継いでいきます。

夕張での暮らしを通じた幸福の実現

市民の健康や福祉、幸福の実現が大切だと考え、健康的な生活環境の整備や社会的つながりの強化、教育と文化の充実などにより、誰もが夕張での暮らしに幸せを感じることが出来る(Well-beingが向上する)まちを目指します。

まちの将来像

小さくても、みんながよりそい暮らしていけるまち 夕張

人口減少や少子高齢化が進む中であっても、市民一人ひとりが地域への誇りを持ち、互いに支えあいながら安心して暮らし続けられるまちづくりに挑んでいきます。
地域資源をいかした魅力あるまちづくりと未来を支える基盤づくりを進め、市民がこれからも暮らし続けたいと思える夕張を築いていきます。

まちづくりの柱

コンパクトシティの推進

人口減少を前提とした持続可能なまちづくり

- （施策分野）
- ・都市拠点の形成
 - ・生活サービスの集約
 - ・公共交通の維持・確保
 - ・公共施設の再編

地域資源を活かした地域活性化

「夕張らしさ」を活かしたまちづくり

- （施策分野）
- ・観光、農業、林業等の地域産業の振興
 - ・歴史資源の活用
 - ・文化、スポーツ等を通じた交流の促進

持続可能な地域経営

まちを未来へつなぐ仕組みづくり

- （施策分野）
- ・適切な行財政運営
 - ・効率的・効果的な公共施設管理
 - ・DXの推進
 - ・市民・事業者等との連携・協働
 - ・関係人口の拡大
 - ・広域連携の推進

夕張市総合計画の基本構想（案）

基本方針

基本方針1
【子育て支援・教育・文化】
豊かな人と文化が育つまち

【結婚・出産・子育て・移住・定住の環境の充実】
【学校教育の充実】
【夕張の歴史・文化の継承と芸術文化活動の振興】

基本方針2
【医療・福祉・スポーツ】
誰もが健康でいきいきと輝けるまち

【医療の充実】
【福祉の充実】
【生涯スポーツ・生涯学習の推進】
【社会保障の充実】

基本方針3
【産業・雇用】
夕張らしく活力あるまち

【農業の振興】
【林業の振興】
【観光・商工業の振興】
【起業・雇用の促進】

基本方針4
【生活環境】
安心安全に暮らし続けられるまち

【災害に強いまちづくり】
【環境にやさしいまちづくり】
【社会基盤整備の推進】
【生活環境の向上】

基本方針5
【行政運営・地域コミュニティ】
支えあって未来につなぐまち

【適切な行政運営の推進】
【健全な行財政運営の推進】
【協働のまちづくり】

施策の推進に
あたっての視点

①先端技術の活用

②広域連携の推進

夕張市総合計画／総合戦略の構成（案）

夕張市総合計画

基本構想(令和9～18年度の10年間)

理念

「夕張らしさ」＝自然歴史文化の継承
夕張での暮らしを通した幸福の実現

まちの
将来像

小さくても、みんながよりそい暮らしていけるまち 夕張

まちづくり
の柱

コンパクトシティ
の推進

地域資源を活か
した地域活性化

持続可能な
地域経営

基本方針

基本方針1【子育て支援・教育・文化】
豊かな人と文化が育つまち

基本方針2【医療・福祉・スポーツ】
誰もが健康でいきいきと輝けるまち

基本方針3【産業・雇用】
夕張らしく活力あるまち

基本方針4【生活環境】
安心安全に暮らし続けられるまち

基本方針5【行政運営・地域コミュニティ】
支えあって未来につなぐまち

前期基本計画
(令和9～13年度)

基本方針1に基づく
具体的な施策

基本方針2に基づく
具体的な施策

基本方針3に基づく
具体的な施策

基本方針4に基づく
具体的な施策

基本方針5に基づく
具体的な施策

夕張市地方人口ビジョン及び地方版総合戦略

人口ビジョン

基本姿勢

人口減少傾向を直視しつつ、それを楽観するのでも悲観するのでもなく、市民が安心して住み続けられるまちを目指すことで、結果的に人口減少を多少なりとも緩やかにしていく。

将来人口の推計値

2050年の将来人口:2,154人
(国立社会保障・人口問題研究所の推計より)

地方版総合戦略
(令和9～13年度の5年間)

コンパクトシティの推進

- ① コンパクトシティプロジェクト【都市機能整備】
- ② ゆうばり住まいるプロジェクト【住環境整備】
- ③ 生活交通確保プロジェクト
- ④ みどりづくりプロジェクト【公園再編】

地域資源を活かした地域活性化

- ① 夕張ブランド農業プロジェクト
- ② 地域資源活用型観光推進プロジェクト
- ③ 起業・しごとづくりプロジェクト
- ④ 交流・関係人口創出プロジェクト

持続可能な地域経営

- ① 夕張高校魅力化プロジェクト
- ② 健康寿命日本一プロジェクト【医療・福祉】
- ③ ゆうばりっこ応援プロジェクト【子育て・教育】
- ④ 地域コミュニティプロジェクト
- ⑤ ゆうばりDX化プロジェクト

※上記、プロジェクト名及び内容は現時点での案です。